



令和2年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 京都市 】

学校名【 京都市立鳴滝総合支援学校 】

1 実践テーマ	I ・ ② ・ III ・ IV ・ V（複数選択可）
2 実施対象者 (学年・人数)	高等部 生活産業科 1年生 23名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (○: 総合的な探究の時間) ② 行事名 () ③ その他 (○: HR) (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> ・実際にボッチャを通して交流活動をされている方々と競技を行うことで、パラリンピック競技への関心を高め、共生社会への意識を育む ・パラリンピック競技を体験することで、2021年に行われるオリンピック・パラリンピックを身近に感じ、関心をもつ ・選手の方と交流し共に活動することを通して人間の強さやすごさを身をもって体験し、普段の学校生活とは違う新たな学びにつなげ、誰もが夢と希望を持って、いきいきと過ごせる社会を創ろうとする気持ちを育む
5 取組内容	<p>〈事前学習〉(2時間)</p> <p>①活動の目的等概要説明・ボッチャ関連動画視聴</p> <p>②ボッチャの練習</p> <p>③「ボッチャ大会」当日の確認</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>〈練習〉(計2時間)</p>

〈当日〉

ボッチャ大会（2時間）

- ・伊丹ボッチャクラブより原田氏とヘルパーの方1名をお迎えし、ボッチャ大会を行った。
- ・生活産業科 1年生23名のうち17名が参加した。（6名は実習中のため不参加）

①質問コーナー

②選手によるデモンストレーション

③生徒同士によるゲーム

④生徒チームの上位2チームと選手（原田氏）の対戦



〈事後〉

・振り返りとお礼状書き（1時間）

6 主な成果

- ・ボッチャに取り組むことを通して、生徒同士のコミュニケーションが活発になり、相談したり協力したりする機会が増えて、集団としての結束が高まる要因のひとつになった。
- ・事前に動画の視聴をしてボッチャのことや選手の技術のすごさを学習していたが、実際に来ていただいて、そのテクニックを目の当たりにできて改めてひとつのことに打ち込まれた方のすごさや素晴らしさが実感できた。

〈以下、生徒の感想より〉

	<ul style="list-style-type: none"> • ボッチャ大会当日に原田さんがプレーしていたところを見て、おどろきました。ジャックボールの近くに行くように投げていたところがすごかったです。原田さんと対戦はできませんでしたが、原田さんのプレーを見ていても、すごくてトリハダがたちました。また、ぼくはボッチャをやりたいと思いました。 • 私は、授業でボッチャをするまで、名前すら知らなかったですが、鳴滝に入ってボッチャに会えたことはとてもうれしいことだと思います。ゲームを通してコミュニケーションを仲間ととったりルールを知ることができたりして、とてもたのしかったです。また、決勝戦で戦ってみて、とても強く、ボールの位置が集合していてとてもすごかったです。質問などで教えていただいたことを忘れずに、またボッチャをする機会があればやりたいと思います。 • 原田さんが練習しているのを見て、ぼくはもう無理だと思いました。実際、自分もボッチャをやったことがなく、はじめたときはジャックボールに玉を近づけるのがむずかしくて、練習をつみかさねるにつれ、ジャックボールに近づけることができました。 • 今まで、ボッチャという名前も全く知らなくて、「ボッチャってどんなスポーツなんだろう?」「楽しいのかな?」など、さまざまな疑問が浮かんできました。けれど、いざ実践でやってみると、ジャックボールに向かって赤と青の玉を投げて得点を競うことは難しく、玉の持ち方、投げ方のコツが沢山あって、面白いと思いました。もう一つは、本番当日にまさかの引き分けになり、一騎打ちで投げることになるなど、熱い展開になる場面が多く、楽しかったです。またボッチャをする機会があれば、楽しんでやりたいと思います。
7 実践において工夫した点 (事業の特色)	<ul style="list-style-type: none"> • 事前学習で動画を視聴し、ボッチャのことを知るとともに、練習時間を学年では3時間、部活動（屋内スポーツ）でも取り組んで、ルールや競技方法を確認するだけではなく、簡単ではあるが、戦略の立て方などにもふれた。 そのため、競技への参加が前向きになったり「考えて」投げる姿勢につながり、選手の方のすごさがわかるとともに、選手との対戦では、勝ちたいという姿勢で取り組めたようである。
8 主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> • 学校に来ていただける「ボッチャ選手」の方は昨年度と同じ方であり、すぐに連絡を取ることができた。しかし、遠方から来ていただくので、行き帰りの負担を考えると今後も同じ方に依頼することについては検討を要する。
9 来年度以降の実施予定	<ul style="list-style-type: none"> • 来年度以降の実施については未定。 • 鳴滝総合支援学校は「卓球/バレー」の発祥の地と言われており、ボッチャも含めて「パラスポーツ」や「障害者スポーツ」に機会をとらえて取り組み、余暇利用や生涯を通しての活動につなげられるようにしていく考えである。